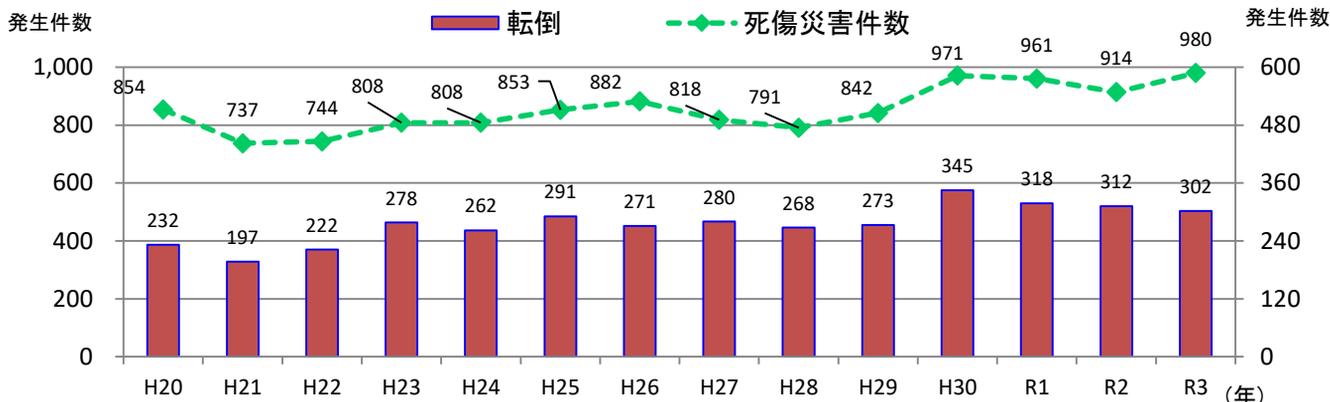


STOP! 転倒災害 (小売業)

今日も一日
ご安全に

大阪府内における令和3年の休業4日以上死傷災害8821件のうち2177件(24.7%)が転倒災害となっています。

また、小売業においては、休業4日以上死傷災害980件のうち転倒災害が302件(30.8%)発生しています。なお、転倒災害の約60%が休業30日以上となっています。



小売業 休業4日以上死傷災害件数(労働者死傷病報告より)
※新型コロナウイルス感染症による死傷災害を除く

災害事例 (転倒災害)

- ・小走りで歩行中、足がもつれて転倒した。
- ・雨が降り、屋外の金属製の蓋で滑って転倒した。
- ・厨房内の床が水に濡れており、すべって転倒した。
- ・開店前の清掃で濡れた床ですべって転倒した。
- ・お客様侵入防止チェーンをまたごうとして転倒した。
- ・客と接触しそうになり、よけようとしてバランスを崩して転倒した。
- ・手にトレイを持ってレジに移動中、同僚の足が引っかかり転倒した。
- ・床面の配線カバーにつまずいて転倒した。
- ・足元の台車・商品に気づかず、つまずいて転倒した。
- ・靴のかかとが階段の滑り止めに引っかかり転倒した。

令和3年転倒災害での休業日数



転倒災害の約60%が30日以上の休業日数となっている。

たかが、「すべった・転んだ」ですが、作業中の転倒災害は、長期に渡る休業となる事例が多く発生しています。

転倒災害防止対策のポイント

- ・売り場内は、小走り禁止とし、客の対応でも走らないこと。
- ・屋外の金属製のマンホールなどは、水で滑りやすくなるので、通行禁止か滑り止めを施すこと。
- ・水を使う作業場所では、耐滑性のある作業靴を履くこと。
- ・床清掃後の確実な拭き取りを実施すること。
- ・お客様侵入防止チェーンや商品をまたいで通行しないこと。
- ・作業所内で安全通路を確保すること。4 S (整理・整頓・清潔・清掃を実施する)
- ・安全通路、作業場所に適切な照度を確保すること。
- ・段差の養生を行う。養生できない場所は注意を促す表示をすること。
- ・自分の置いた箱につまずく事例あり、足元に荷物を放置しないこと。
- ・客への意識集中は周りが見えなくなることから、忙しい時ほど落ち着いて作業すること。



職場での **転倒** にご注意ください！

転倒予防のために 適切な「靴」を選びましょう

サイズ

靴と足はフィットして
いますか？

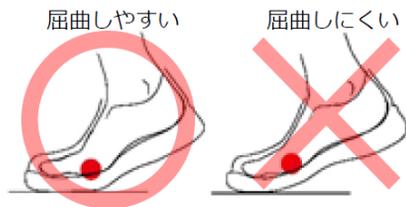
足に合った靴は疲労の
軽減、事故の防止に
つながります。



屈曲性

親指から小指の
付け根を適度に
曲げられますか？

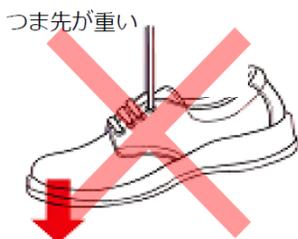
靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になり
やすく、つまずきの原因となります。



重量バランス

靴の前後の重さの
バランスは
とれていますか？

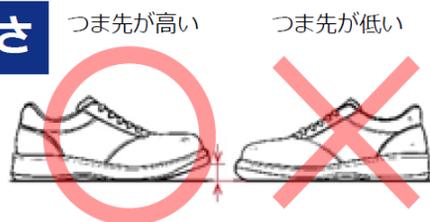
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につ
ま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。



つま先部の高さ

つま先から床面
まで一定の高さ
がありますか？

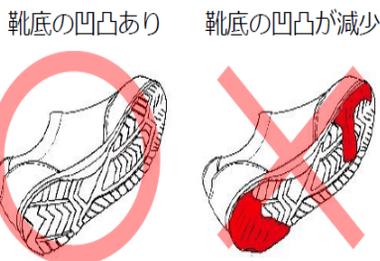
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につま
ずきやすくなります。



靴底の減り具合

靴底がすり減って
いませんか？

靴底の減りが大きい
靴は、滑りやすくなります



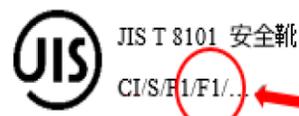
耐滑性の有無

靴の滑りにくさを確認していますか？

耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。

■安全靴の場合

個装箱のJISマーク
表示の近くに「F1」
または「F2」の表示
があるか確認してくださ



■プロスニーカーの場合

靴のべろ裏面の表示に、
耐滑性のピクト表示が
あるかを確認してださい。



その他の性能

■静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火
の防止と低電圧で
の靴底からの感電
防止性能



■かかと部の衝撃 エネルギー吸収性

かかとのクッション
性に関係し、かかと部の
疲労防止性能



■耐踏抜き性

釘などの鋭利なもの
から足裏を防護する
性能



厚生労働省では、転倒災害を減少させるため

「STOP！ 転倒災害プロジェクト」を推進しています！

STOP！ 転倒

検索



先芯がいない作業環境で使用する耐滑靴の探し方

作業時に着用する靴の安全性は、作業環境の状況に応じて決められています。先芯（安全性を確保するために靴のつま先部分に入れる）を履く必要がない作業環境の場合でも、耐滑靴を着用しなければならないことがあります。その場合、先芯入りの安全靴やプロスニーカーであれば、靴の表示で耐滑性を確認できますが、先芯入りでない靴は表示で耐滑性を確認することができません。その場合は下記のメーカーへご相談ください。

職場の状況に適合する靴を紹介できるように、以下の項目を参考に職場の作業環境等もご説明ください。

■作業中に重量物を取り扱うことがあるか

重量物を取り扱う場合、安全靴を着用してください

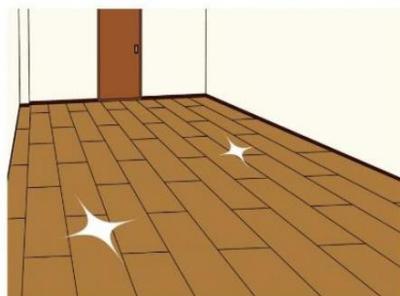


■作業中や作業後に水を取り扱うことがあるか

水を取り扱う場合、靴の表面素材は人工皮革製・ゴム製が最適です



■床の材質 塗り床／タイル／カーペット等 床の材質で適合する靴底が変わります



■滑りが発生する場合の状況

滑りが起きた状況によって対策が変わります

- (例)
- ・物につまづいた
→運搬と通路改善
 - ・濡れた床で滑った
→水・油用耐滑靴検討
 - ・凍結路面で滑った
→氷用耐滑靴検討



詳しくはメーカーや販売店にご相談ください
耐滑靴取り扱い店・メーカー

会社名	電話番号	関連商品URL
弘進ゴム株式会社	022-214-3021	https://www.kohshin-grp.co.jp/FormMail/shoes/
株式会社シモン	0120-345-092	https://www.simon.co.jp/contact/
日進ゴム株式会社	086-243-2456	http://www.nisshinrubber.co.jp/contact/index.html
株式会社ノサックス	082-425-3241	www.nosacks.co.jp
株式会社丸五	086-428-0232	https://www.marugo.ne.jp
ミズノ株式会社	0120-320-799	https://sports-service.mizuno.jp/btob_service
ミドリ安全株式会社	03-3442-8293	https://midori-fw.jp/

労働災害防止の取組を進めるための「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました！

厚生労働省では、

- ①労働災害を自分ごととしてとらえ、解決策を考えていく機運の醸成
- ②顧客だけでなく、従業員の安全第一のための取組をステークホルダー全員での推進を目指して、令和4年度から、小売業、介護施設等を中心に増加する転倒や腰痛による労働災害を予防する取組を推進することとしております。



具体的には、厚生労働省ではSAFEコンソーシアム（加盟団体が連携し、表彰や広報活動を実施）の設置、各労働局では+SAFE協議会（管内企業を構成員とし、情報交換や広報活動等の取組を実施）の設置各労働基準監督署でも関連団体・機関との連携による効果的な周知啓発等の実施等を予定しております。

安全で安心な店舗・施設をつくりましょう

職場のあんぜんサイト

働く人の安全を守るために有用な情報を発信し、職場の安全活動を応援するサイトです。



職場の安全を応援する情報発信サイト／
職場のあんぜんサイト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/#>

安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

厚生労働省と中央労働災害防止協会（中災防）は、労働災害が増加傾向にある小売業、社会福祉施設、飲食店での労働災害防止対策を推進するため、「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」を展開しています。

厚生労働省の「職場のあんぜんサイト」の「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」サイトには、これらの業種での労働災害の防止に関連する様々な情報を掲載しております。経営者や安全スタッフの皆様をはじめ、働く労働者の方々皆様でぜひお役立てください。



職場の安全推進運動

社会福祉施設、小売業、飲食店における労働災害が近年増加しています。

中でも、転倒災害・腰痛災害などの行動災害は特に多く、各現場では、これらを防ぐための取組が十分に行われていないのが現状です。

災害のない現場づくりは、労働者はもちろん、施設利用者や消費者の安全にも役立ちますし、人材確保にもつながります。

労働災害を防ぐためには、まずは経営トップの参画の下、店舗・施設の取組を本社・本部がきちんとサポートするという、全社的な安全衛生活動を展開する必要があります。また、現場で働く方一人ひとりの意識づくりも大切です。

本運動は、安心・安全な労働環境実現の取組を促進し、労働災害を減少させることを目的としています。

